

この冬の省コスト
を目指して！

主催：東京大学／山形県環境保全協議会

＜環境情報セミナー・開催ご案内＞

燃料費高騰を
意識して？

蒸気の省エネとスチームトラップ： 「現場発」最新事情

技術リスクは
どうヘッジ？

今すぐできる
最善策は？

日時

平成30年12月6日(木)15:15～16:35

参加費
無料

会場

山形県産業創造支援センター（多目的ホール）

〒990-2473 山形市松栄1-3-8 ※JR山形駅、東北中央道山形中央ICより約4km。無料駐車場有。

概要

【事例】スチームトラップ漏洩実験風景→

- ①プロローグ：ドレン排出の適正化でこんなに省エネに！？（成功事例紹介）
- ②本論：蒸気の省エネとスチームトラップ
 - ・カンタン理解！スチームトラップの種類／排出性能／新技術（最新情報）
 - ・スチームトラップの漏洩／詰まり診断：「誰でもできる方法」
 - ・技術リスク：省エネ効果の推定精度／スチームトラップの保守点検上の配慮 等
- ③エピローグ：「本当にあった話」だから言えるコト＋特別なお知らせ



※映像資料で事例を
詳細に公開予定。

詳細ご案内

加熱物に熱を伝えた蒸気はドレン（凝縮水）となり、蒸気使用プロセスや蒸気配管内に滞留します。滞留ドレンの存在は当該設備の熱効率低下に繋がるため、必要な箇所に必要なだけ、蒸気を漏らさず自動でドレン除去を行うスチームトラップを設置するのが一般的です。スチームトラップを正しく設置し、かつその正常作動が担保されている限り、ムダな燃料消費を極小化することができます。

逆の言い方をすれば、実は「消耗品」としても知られるスチームトラップの不良を放置することが、エネルギーロスとコストの増大を生み出します。東京大学によるフィールド実験によれば、たった一つのスチームトラップから、年間100万円以上の損失が発生する事例も見られました。燃料価格の高止まり、加えて、寒い冬を迎える＝蒸気ボイラーの燃料消費量が増加に転じる今こそ、「今すぐできる」ドレン排出の適正化による省エネを最大限、実現する時ではないかと考えます。

そこで今般、山形県環境保全協議会は、東京大学との共催で、当該分野の省エネ技術、フィールド実験で得られた成功事例ならびに技術リスク等に関する情報提供を実施致します（講師は東京大学の研究従事者が担当）。なお本講座は学術研究を目的としていることから、当然に中立的な内容としております。



＜講師＞
東京大学大学院
新領域創成科学研究科
環境システム学専攻
博士後期課程
鈴木 伸隆 氏

TEL:023-679-3340（特定非営利活動法人環境ネットやまがた内）

参加申込書

申込先：山形県環境保全協議会 FAX:023-679-3389

会社（法人）名			所属部署	
参加代表者氏名	(御役職：)		参加者氏名	
住所	〒	山形県		
電話番号			FAX番号	
E-mailアドレス				

【注意事項】～本セミナーのご参加に当たりましては、原則として、前日までに事前申込をお願い致します～

当お申込みによるご提供頂いた個人情報ならびに講座終了後のアンケート調査によって得られた情報は、東京大学における研究倫理基準に基づき、氏名など個人情報が特定できないように匿名化した上で、研究に利用させていただきます。

（本セミナーは東京大学倫理審査専門委員会の承認を受けた研究の一環として実施致します。

ご参加お待ちしております